

達

(安城東高校)
(同窓会報)

第23号

発行所……………
愛知県立安城東高等学校
同窓会印刷所……………
安城印刷株式会社

今号の内容

- 恩師のたより…………… P2～4
- 東校ホップ・ステップ・ジャンプ…………… P5～6
- 総会案内・30周年記念事業…………… P7
- 木村先生叙勲・会計報告等…………… P8

No.1 全三河高校野球大会にて二十三年ぶり2回目目の優勝！

		TEAM 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11										PC 16 18 98	
▲ 安城東		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	▲ 藤田 福 西
▲ 豊大谷		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 藤田 福 川 村
● ●													



No.2 安城東高等学校 創立30周年記念事業について。………詳細は7ページにて

No.3 木村和夫先生叙勲受章おめでとうございます。………詳細は8ページにて

新生「達」

今回の「達」をご覧になって、「おおっ!」と思われた方も多いかもしれません。昨年の碧海野会のホームページ刷新に引き続き、今年は、「達」のレイアウトを大幅に変更しました。これは、碧海野会からの情報発信源である「達」を、会員皆さんにとってもっと親しみ易く、読み易いものにしようという目的によるものです。なぜならば、「達」が碧海野会から同窓会皆さんへの情報発信源として、唯一、会員全員に届くメディアだからです。

これまで、会報「達」については、皆さんからいろいろなご意見を頂いております。「卒業して数年間は、母校の情報にも興味があるが、それ以降は知っている先生や在校生もなくなってしまうため、届けてもらっても価値がない。」「読まずに捨ててしまう人もおり、全員に発送するのは費用の無駄遣い。」「等のご批判もあるなか、他方では、「毎年興味深く拝読しており、年一回、『達』が届くのを楽しみにしています。」「といった実に嬉しいご意見があるもの事実です。

このような状況の下、碧海野会と致しましては、会員皆さんへの情報発信手段として、現時点では「達」を最高位に位置付けております。同時に、昨今のインターネットの急速な普及と、将来のデジタル家電による家庭内ネットワーク時代の到来を見据え、もうひとつの重要な情報発信源である碧海野会ホームページを、今後「達」と融合していきたいと考えております。

そこで、今回のレイアウトの刷新となったわけです。まだまだ、試行錯誤の段階ではありますが、近い将来には、「達」と碧海野会ホームページは一体の情報源として一元管理できるような仕組みにしていきたいと考えております。

いよいよ来年度は、母校安城東高等学校の創立30周年を迎えます。今年は、そのプレ企画として、全回生を対象とした合同同期会を総会のアトラクションとして企画致しております。記念すべき母校創立30周年に向け、あるいはそれを契機として、碧海野会会員相互の活動が、その規模の大小にはかわらず、今後益々活発になっていくことと確信をしております。

そして、そのためのコミュニケーション手段として、「達」や碧海野会ホームページが、皆さんにとって欠かせないツールとして機能し、碧海野会のネットワークがさらに拡大していくことを心より祈念致します。



同窓会長 浅井浩一

30周年に向けて思う

正門をくぐると目の前に広がる芝生も初夏の太陽光を受け青々と茂る季節となりました。同窓会の皆様には、常日頃、母校の教育振興と在校生の激励に暖かい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本校は来年で30周年を迎えることとなりました。30周年記念事業実行委員会も発足し、記念式典も平成17年9月30日と決まりました。来年度の記念事業並びに記念式典の内容を充実させることを目指し、今後学校上げて努力してまいります。

この周年行事を機に、もう一度本校開設の教育理念に立ち返って、学校そのものを見直すことが周年行事の一つの意味であり、卒業生の皆様や地域の方々に改めて安城東高校を認識していただける機会にしたいと考えております。

幕末に活躍した吉田松陰は、「学は人たる所以(ゆえん)を学ぶなり」と述べています。学ぶとは、人たる所以を学ぶことである。つまり、人が人として生まれたからには、人としてどうあるべきか、この世のなかで人として何をなすべきか、それを学問をしながら追求する必要があると説いたのです。この教えは、まさに安城東高校30年の教育そのものであると感じます。さらに、松陰は、「志定まれば、気盛んなり」(やろうという決心があれば、何事も必ず実現される。)と説いています。本校の教育も、より一層、志の高い人材の育成を期する所存です。

同窓会の皆様におかれましても、御健康に留意され、今後のますますの御活躍を祈念すると共に、本校への変わらぬ御支援をお願いして挨拶とさせていただきます。



校長 春木淳二



👓 恩師のたより

【アンケート事項】①転勤先 ②担当教科 ③東高勤務年数 ④思い出深い回生 ⑤一番の思い出 ⑥転勤先の印象 ⑦卒業生に一言

なにがなんだか	都築 春彦
なにがなんだかわからないままに二年間が過ぎてしまいました。振り返ってみると、この二年間は自分にとって教員生活で一番悔いの残る二年間でした。自分の思ったこと、やらなくてはならないことの半分もできませんでした。しかし、僕の大好きな東高で二年間を過ごすことができたのは、とても幸せでした。 うれしかったことは、親子二代にわたっての教員が何人もいたことです。僕の見かけの姿形は変わってしまっても、話のネタは二十年前と全く同じでした。ただし、ウケはだいぶ悪くなりました。ハハハ。 次にうれしかったことは、オーストラリアの姉妹校に行かせてもらったことです。十五年前、次は先生の番ですねといわれていて、転勤になりました。国際交流を謳っている東高の先生としては、やはり一度は姉妹校を訪れてみたいものです。今の勤務校には、国際交流の機会はないので、つくづくよかったと思います。エカッタ。 残念なことは、クルージング修学旅行に行けなかったことです。もう一生豪華客船には乗れないかもしれません。グ、グヤジイ。 今回の離任式では、東高のことを、「安東」と呼ばないでほしいと、職員や生徒に訴えました。理由は、僕にとって「安東」という呼び方は、安っぽく違和感があり、愛校心が感じられないからです。 これについて、「よくぞ言ってくれた。」という人と、『そんなことはない。「安東」でいいじゃないか。』という意見の人がいました。卒業生の皆さんは、どう思われますか。安城東ができた年に新任として東高に来た自分は、まさに東高とともに歩み、東高の歴史は自分の歴史でもあると思っています。 いつまでも、僕の大好きな東高でありつづけてもらいたいと願っています。	

- ①愛知県立岡崎高等学校
- ②国語
- ③十四年十二年＝十六年
- ④担任したすべての回生
- ⑤十四年前の離任式の時に、舞台の上から「必ず東高に帰ってきます」と言ったことが、二年前に実現したこと。自分の教員生活で、一番うれしかったことです。
- ⑥積極的な気持ちで、高校生活を楽しむという基本をあらためて感じました。これは東高の現役の生徒にも強く言いたいことです。
- ⑦卒業生といっても、十四回生までの皆さんへ。また、もう一度東高に戻ってきて、皆さんのお子さんから「先生」と呼ばれることを夢見ています。それはともかく、ぜひおさんは、僕の大好きな東高へ入れてくださいな。

東高の十四年間ありがとう	竹内 英之
昭和四十一年の三月二十五日は大学の卒業式のはずだった。だが、学園紛争の中で挙行できず、卒業証書だけを文学部の事務官から受け取って、東京をあとにした。練兵場を思わせるような木造校舎の刈谷高校へ赴任した時、「高田馬場の喫茶店の片隅から飛び出してきました」と着任のあいさつ文を書いた。それから三十八年間、飽きもせず教育の仕事をしてきた。バスケットボールや高校演劇の指導に打ち込んだ青年教師の時代を経て、安城東高校にやって来た頃は学校運営の端くれにいた。そのためか残念なことに、「担任」を経験することがなかった。それでも楽しく十四年間を過ごすことができたのは、まさしく「生徒がよかった」からだ。学校行事	

に燃える諸君を見ていると、自然と、こちらにも元気を分け与えてくれたように感じた。教科の都合で第三学年に所属することが多く、模試や課外学習に追われて、休日にも学校ににいるという「学校大好き人間」になっていた。生徒あるところ教師ありと、かつて先輩教師が教えてくれたが、これもその表れかと思った。休日に教室や図書館で勉強している諸君を見ると、当番として出校しても苦痛とか嫌だという気持ちは起こらなかった。

諸君の母校の今はどうだろう。教室や図書館にどれだけの後輩の諸君が自分の進路達成のために一所懸命になっているか。

定年退職の身になって、客観的に諸君の母校を見ると、時代の趨勢かも知れないが、身なり、格好が周辺の普通の高校生と見分けがつかないのだ。東校生というステータスはどこへ行ってしまったのかと、心を痛めているひとりだが。

- ①愛知県立一色高等学校(再任用)
- ②地歴・公民科(日本史、世界史、時に倫理も担当した)
- ③十四年
- ④十四年のうち、十年は三年の学年で仕事をしたので、そのすべて。
- ⑤曙光と夕陽。つまり、暁天マラソンを走り終えた時の日の出。クルージング修学旅行の時の瀬戸大橋の向こうに沈む太陽。さらには炎天下の体育大会も懐かしい。
- ⑥学年で九～十二クラスもある大規模校で、三十八年間勤めてきたためか、一色高は静かで、のんびりした田舎の高校という印象をもった。
- ⑦母校は母港だよ、と言いたい。安城で、三河で、愛知で、日本で、世界で、どこで活躍されていようと、君を包み込んでくれる父母のように、母校は君を見つめている。

早春の庭で	倉橋 美喜男
二月の早い時期に、いやもっと早く、それはまだ冬の冷たさが残っている堅くしまった日だったかもしれない。庭にクロッカスの芽を見つける。そのときからの、自分の家の庭がとても好きだ。ゆっくりつぼみをふくらませる牡丹。すっきり立ち上がってくる芍薬の緑。羽化したばかりのような、繊細で透明な蔓薔薇の葉は春の光の中で、静かに葉の色を濃くしていく。 それはきまってながくつづいたよい天気ぐづれた日。自分でも支えきれなくなったつぼみを、空中に投げ出すように牡丹が開花する。そして、あっけないほど迅速な落花。 そのときにはもう躑躅は咲いていたのだったか。その前に桃の花だって咲いていたはずだ。擬宝珠の新鮮な記憶もある。そういう見落としがたくさんある。たぶん、ぼくの中に特定の花や木との間に時系列ができていて、それを外れると咲いていても見えない見えても記憶に残らない。クロッカス。牡丹。芍薬。躑躅。皐月。各国史を習って、同時代がうまくつながらない世界史みたいに。十字軍の同時代の代表的日本人は誰だろう。 教室の中でもいくつもの個性や才能が開花する。つぼみのままで立ち枯れるもの。早すぎる開花が痛ましいもの。けれど、ぼくの見ている因果の系列から外れたものは、ぼくに見えていない。そんなことにも気づかないまま、東高での五年間は終わった。花々は教室に咲き乱れていたのに。ぼくは十分見ひらかれていたはずなのに。もっと自由でありたいと思った。	

- ①安城南高校
- ②国語
- ③五年
- ④それぞれに。
- ⑤赴任式の日に自宅に届いたクラスの手紙の束。



- ⑥目標は金沢工大。(合格じゃないよ)
- ⑦自恃と決断

限界への挑戦	加藤 宣行
皆さんは五十キロメートル歩いた経験はありますか。個人差はあるでしょうが、三十キロメートルを過ぎると筋肉痛になったり、膝が痛くなったりします。そして筋肉が固まるということも経験できます。おそらく筋肉が固まるということを経験した人は少ないと思います。それはしばらく動かないでいると文字通り筋肉が固まってしまい、動かなくなってしまうのです。それ	

ですから、信号待ちをするときにも、その間立ち止まっていると足が動かないのです。そして少し無理をして足を動かすとまた足が何とかが動くようになりますのです。ですから、多くの人は信号待ちをしながらも足踏みをするのです。

昨今では健康ブームとでも申しましょうか、各地で、ジョギング大会とかウォーキング大会が開催されていますが、その五十キロウォークもその一環として開催されているものであります。私も数年前から十キロメートル程度のジョギング大会に参加するようになったのですが、安城東高校に赴任してからは、先生方の中にもジョギング仲間がいて、そのうちにハーフマラソンそしてフルマラソンに出場するようになっていました。そしてとうとう二年前には安城緑道ウルトラマラソン(百キロメートル)に挑戦するようになりました。制限時間は十二時間です。結果健闘もむなしく途中リタイアでした。昨年はという、やはりリタイアでした。今年こそは、このウルトラマラソンで完走したいと切願するものであります。そして完走すると安城の新米が一升もらえるのです。今年こそは一升ゲットしたいものです。

- ①岡崎西高等学校
- ②数学
- ③五年間
- ④二十五回生
- ⑤部活(男子卓球部)の大会でベスト8には入れたのだが、あと一步のところで県大会を逃したこと。……残念。
- ⑥隣にある公園の桜がとてもきれい。環境抜群。
- ⑦卒業してから東高へ遊びにいく。

七年間を振り返って	尾崎 誠司
今年の四月から愛知県立岡崎高等学校に勤務することになりました。この転勤で五校目になります。教員生活十九年の内、七年間を東高で過ごすことができたことは、今の自分にとって、非常に大きな意味を持つことです。	

七年前、東高に赴任して間も無い頃は、礼儀正しい生徒に感心し、活気ある行事に驚かされるばかりでした。そして、生徒を育てようとしながら、実は、一番育てられたのは自分だったように思います。

特に部活動では、毎年、気持ちよく練習に参加でき、県大会出場等、良い経験をさせてもらったりと思ひ深いものがあります。

この数年間で東高もいろいろな面で変わりました。校内では、様々な分野で、コンピューター化が進み、以前にも増して、地元にも目を向けた学校を意識するようになりました。微力ながらその一端に参加できたことを嬉しく思います。

七年間は、とても短く感じ、後ろ髪を引かれる思いですが、この東高で身

に着けた事を今後に生かしていきたいと思います。

最後になりましたが、東高の更なる活躍と同窓生の益々のご健勝を心から祈り申し上げます。

- ①岡崎高等学校
- ②理科(化学)
- ③七年
- ④二十二・二十三・二十六回生
- ⑤部活動(バレーボール部)
- ⑥東高と同じ様に部活動が盛んで、良い生徒が多い。
- ⑦様々な分野で、活躍して下さい。

我逢人	宮本 斉子
六年前、初任者としての赴任先が安城東高校だと初めて聞いた時、私は、「安城ってどの辺りにあるんだっけ。」と地図を開いていました。また、尾張出身の私は、「静かにしやあ。」と尾張弁を使って、笑われて余計に騒がしくなってしまったこともありまして。多くのことに戸惑いながら教員生活をスタートしたことが懐かしく思い出されます。今では「静かにしりん。」と、三	

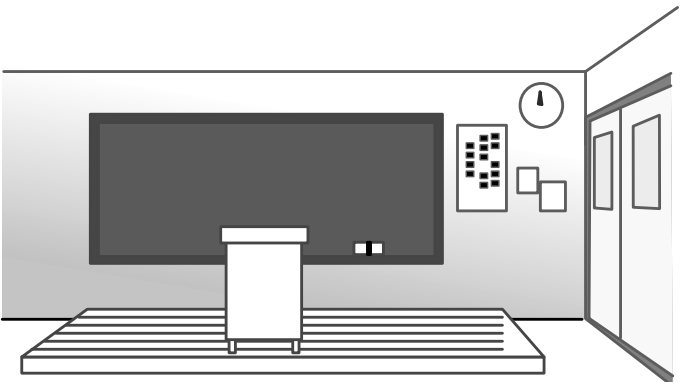
河弁もかなり使いこなせるようになり、安城にとっても愛着を感じています。

私が安城に愛着を感じるようになった一番の大きな理由は、素敵な人たちとの出会いがあったからです。安城東では、生徒たちも先生方もとても熱かったと思います。何事に対してもベストを尽くして取り組んでいました。特に、生徒たちが球技大会、東高祭、体育大会などの行事に若いエネルギーをぶつけて向かっていく姿は一生忘れることがないと思います。また先生方は教科指導においても生徒指導においても大変熱心で、仕事に対する姿勢や人としての生き方を学ばせていただきました。安城東では、生徒たちも先生方もきらきらと眩しいくらいに輝いていました。そして、その輝く時間を共有させていただいたことが私にとって大切な宝物となっています。

安城東での出会いに感謝をし、これからも出会いを大切にしていきたいと思っています。

六年間どうもありがとうございました。

- ①退職
- ②英語
- ③六年
- ④出会った生徒全員
- ⑤自分の結婚式に多くの生徒がお祝いに来てくれたこと。
- ⑥ー
- ⑦人との出会いを大切に。





振り返れば…

猿渡 (旧:幸島) 由果



教師になることが私の夢でした。という和相當昔から教師に憧れていたように思いますが、そうではなく、教員を目指し始めたのは大学二年生の時でした。今は英語を教えています、当時私は経済学を学んでおり、誰も私が本当に英語教師になれるとは思っていなかったかもしれませんが、好きこそものの上手なれと言いますがあるものを好きになれば人は予想以上の力を発揮できるのだと思います。

大学卒業後に留学をし、教員採用試験を数回受験の上合格。ずいぶん遠回りをしました。そして晴れて教員として第一歩を踏み出すことになったのがこの安城東高校でした。

始業式の生徒たち、凜とした雰囲気、人の話を聞く時の姿勢、校歌を歌うときのあの声の大きさ。安東生が優秀であることは一目瞭然でした。

授業時の生徒たち。良い授業をするとあの子たちの瞳が輝きました。それが良い授業か否かのバロメータ。今日はここが足りなかったなと思っても、じゃあ次はこうしよう工夫する。その結果は生徒の反応として返ってくる。こんな楽しいことはない、好きなことをしてお金を貰ってもいいのかしらと思いました。それ程すばらしい生徒たちを教えることができて私はとても幸せだったと思います。

楽しいことはばかりではなく、苦しいことや大変なこともありました、振り返って思うことは、安城東高生を教えることができて良かったという思いと、一年一年が私の財産になっているということです。少し遠くに異動になりましたが、これからも安城東高校を応援しています。

- ①犬山南高校
- ②英語
- ③三年
- ④三月に卒業した生徒たち
- ⑤たくさんありすぎて分かりません
- ⑥最初はこんな山の中に学校があるのかしらと思いましたが今はこの緑に囲まれた環境をととても気に入っています。人も環境も優しいです。
- ⑦「生きる力、夢や希望を持ち続けられどこまでも進んでゆくことができる」私が以前教えた生徒の一人が私に贈ってくれた言葉です。私もそのまま卒業生のみなさんに贈りたいと思います。

巡り合い

鈴木 幸継



この三月をもって定年を迎え、四十年余の県職員生活が終わりました。最後の三年間安城東高校で勤務できたことは、何か心が引かれるものがあり、今も想いだされます。校誌あさやけ、周年誌の頁を開いてみると、開校当時の様子、校風づくり、校訓「達」の心意気が伝わってきます。先輩から後輩へ培われた歴史と伝統が年輪のように積み重ねられていく姿が頼もしく思われます。また、生徒、職員、PTA三者の情熱と信頼の絆を感じました。もう一つ、学び舎が緑の多い環境に恵まれていること。開校時代に緑化奉仕で植えられた樹木が立派に生長し、今も緑化作業が継続され緑豊かに大事に育てられている姿が印象深かった。この木々が競いあって成長する姿が、卒業生が立派に社会で活躍している姿を映し出しているように思われ樹木を大切にしなければと思ひ力が入りました。

これからもその両者の成長を願い期待して、そっと見守りたいと思っています。また、このような機会をいただきましたので、私が日頃気にかけていることを、お話をさせていただきます。出会いを大切にすること、これから先多くの人と巡り合うことになると思います。素晴らしい出会いを期待し、経験することは大切です。人間の運命はどういう人と巡り合ったかで決まる。その巡り合いを出会いと言い、出会いとは、心のバイブレーションであり心情がなければ、緑なき衆生に終わる。さまざまなことで思い迷った時、その人に逢えてよかった、その人に逢うことによって開眼し自らの人生を切り開いていくことができる。人間は自分一人で大成することはできない必ず他の人間との結びつきによってなされる。その結びつき方はいろいろありますが、何らかの結びつきを前提としてどこかで誰かと巡り合わねばならないと言う運命があるように思われます。細く、小さな出会いでもいい、巡り合いとそのご縁を宝のように大切にしてください。

- ①西三河建設事務所 (再任用)
- ②なし
- ③三年
- ④なし
- ⑤グランドの残土処理
- ⑥学校の教育行政事務の守備範囲は広がったが、今度は職務が専門職です。
- ⑦情緒を忘れないように、大切にしてください。

父と娘、親子二代で 安城東高校にお世話になります。

「東高も来年創立30周年を迎えるまでになり、既に親子二代で東高でお世話になっている同窓生も何組かおみえです。このコーナーでは、そんな「碧海野」親子をご紹介します。自薦他薦を問いませんので、会員皆さんからのご連絡をお待ちしています。

今朝、朝刊を開くと「安城東二十三年ぶり優勝」の見出しが飛び込んできた。全三河高校野球で二回目の優勝である。二十三年前というと、我々三回生が卒業した年。初優勝の年に私が卒業し、二回目の優勝の年に我が子が入学。何か縁を感じずにはいられない。

長いようであつという間の三年間。一日一日を大切に充実した高校生生活を過ごして欲しいものである。私の母校、そして我が子にとってもやがて母校となる安城東高校の発展を祈念してやまない。

三回生 宮川 守

当時高校生だった父が、毎朝ぐうぐうといた門を、二十六年経った今、娘である私が毎朝その門をくぐっている。授業中、ふと窓の外を見てみると、そこには豊かな緑に囲まれたグラウンド、そして明治用水が、東高の成長を見守るかのよう、優しく流れている。父も、二十六年前に同じ風景を見ていたのかと思うと、少し照れ臭い気持ちがある反面、父の高校時代にタイムスリップしたかのような不思議な気持ちにもなる。

これから三年間、父が学んできた学舎で勉強できることに幸せを感じながら、勉強や部活を最後まで精一杯遣り遂げたいと思う。

二十九回生 宮川 典子



部活動

平成16年度の高校総体予選の結果を中心にお知らせします。今年度は、陸上男・女、弓道の女子個人、剣道の男子個人、そして今年度から正式な部に昇格したテニス部の男子ダブルスが県大会へと駒を進めました。今年度前半の、こうした運動部の活動中、何といってもめざましいのが、全三河高校野球大会で優勝した野球部です。詳細については別頁で特集が組まれていますのでお読み下さい。文化部では、吹奏楽部のフルート二重奏が、管楽器個人・重奏コンテストの愛知県代表に選ばれ、長野県で行われた東海大会で優良賞を獲得しました。

こうして各部とも最後の大会を終え、三年生が引退していく中、まもなく夏の高校野球選手権の愛知県大会が幕を開けます。編集の都合上、まだ組み合わせ抽選会が行われていませんので、残念ながらこの紙面ではお伝えできません。是非、東高のホームページをご覧ください。

陸上部

▽総合体育大会西三予選

男子	100m	平岩 謙	4位
	400m	瀬戸 貴哉	2位
		田中 憲一	4位
	800m	杉浦 慶一	1位
	1500m	杉浦 慶一	6位
	110mH	古澤 洋平	1位
	400mH	田中 憲一	3位
	円盤投げ	富田 礼貴	5位
	4X400mR	田中、平岩	
		中野、瀬戸	2位

以上 県大会出場
男子総合3位 トラック2位

女子	800m	北村 幸奈	1位
	1500m	北村 幸奈	2位
	3000m	北村 幸奈	5位

以上 県大会出場

▼愛知県総合体育大会

男子	400m	瀬戸 貴哉	
		準決勝進出	
	1500m	杉浦 慶一	
		決勝進出(10位)	
	400mH	田中 憲一	
		準決勝進出	
	4X400mR	田中、平岩	
		杉浦、瀬戸	
		決勝進出(7位)	

女子	3000m	北村 幸奈	
		決勝23位	

バスケットボール部

▽総合体育大会西三予選

男子	1回戦	○本校 89-32 碧南	
	2回戦	×本校 62-66 岡崎西	
女子	1回戦	×本校 33-68 知立東	

サッカー部

▽総合体育大会西三予選

1回戦	×本校 0-2 西尾	
-----	------------	--

卓球部

▽総合体育大会西三予選

男子団体	2回戦	×本校 2-3 岡崎	
ダブルス	ベスト32	杉山・尾崎・沓名・内田	
シングルス	予選敗退		
女子団体	1回戦	×本校 2-3 岡崎東	
ダブルス	予選敗退		
シングルス	予選敗退		

弓道部

▽総合体育大会西三予選

男子団体	Aチーム	18中	
	Bチーム	16中	
女子団体	Aチーム	8中	
	Bチーム	6中	
女子個人	伊藤 真衣	県大会出場	

▼愛知県総合体育大会

女子個人	伊藤 真衣	予選落ち	
------	-------	------	--

バレーボール部

▽総合体育大会西三予選

男子	1回戦	○本校 2-0 豊田	
	2回戦	○本校 2-0 三好	
	3回戦	×本校 0-2 岡崎東	
		ベスト8	
女子	1回戦	○本校 2-0 岡崎	
	2回戦	×本校 0-2 岡崎北	

ハンドボール部

▽総合体育大会西三予選

男子	1回戦	○本校 15-11 碧南工業	
	2回戦	×本校 9-21 刈谷	
女子	1回戦	○本校 18-5 衣台	
	2回戦	×本校 5-34 知立	

ソフトテニス部

▽総合体育大会西三予選

男子団体	予選リーグ		
	○本校	2-0 豊田高専	
	×本校	0-2 西尾東	
	×本校	0-2 岡崎東	
		予選敗退	
個人	4回戦進出	待田・夏目	
女子団体	予選リーグ		
	×本校	0-2 豊田	
	○本校	2-1 足助	
	○本校	2-0 光ヶ丘	
	×本校	0-2 安城	
		予選敗退	
個人	3回戦敗退	4ペア	

ソフトボール部

▽総合体育大会西三予選

女子	予選リーグ		
	○本校	19-2 刈谷北	
	○本校	16-11 西尾	
	×本校	0-8 豊田東	
	△本校	6-6 岡崎西	
		失点率で予選リーグ3位	

剣道部

▽総合体育大会西三予選

男子団体	予選リーグ		
	○本校	5-0 安城農林	
	○本校	2-2 鶴城丘	
		(本数勝ち)	
		決勝トーナメント進出	
		決勝トーナメント 1回戦	
	○本校	5-0 豊野	
	×本校	0-3 西尾東	
		5位決定戦	
	○本校	3-1 刈谷	
	○本校	2-1 安城	
		5位 県大会出場	
個人	ベスト8	井上 達哉	
		県大会出場	
女子団体	予選リーグ		
	○本校	3-0 光ヶ丘	
	△本校	1-1 西尾東	

▼愛知県総合体育大会

男子個人	2回戦敗退	井上 達哉	
------	-------	-------	--

テニス部

▽総合体育大会西三予選

男子団体	2回戦		
	○本校	3-0 愛教大附属	
	3回戦		
	×本校	1-2 岡崎城西	
ダブルス	成瀬・高橋	ブロック優勝	
		県大会出場	
シングルス	成瀬 幹人	ブロック準優勝	
	高橋 和嗣	ブロック4	
女子団体	2回戦		
	○本校	2-1 幸田	
	3回戦		
	×本校	0-2 南山国際	
ダブルス	予選敗退		
シングルス	稲吉 栄里	ブロック4	

▼愛知県総合体育大会

男子ダブルス	成瀬・高橋	1回戦敗退	
--------	-------	-------	--

野球部

▽平成15年度春季西三河高校野球大会

予選リーグ	×本校	0-7 岡崎城西	
	○本校	7-1 三好	
	○本校	2-1 知立	
	○本校	10-0 豊田工	
二次トーナメント	○本校	5-4 豊田西	
	×本校	1-4 豊田大谷	

▼第54回愛知県高等学校優勝野球大会(県大会)

1回戦	×本校	1-2 国府	
-----	-----	--------	--

▼第110回全三河高校野球大会

1回戦	○本校	13-3 桜丘	
		(5回コールド)	
2回戦	○本校	1-0 杜若	
準決勝	○本校	7-4 岡崎西	
決勝戦	○本校	1-0 豊田大谷	
		23年ぶり2度目の優勝	

吹奏楽部

▼中部日本吹奏楽連盟平成16年度管楽器

個人重奏コンテスト東海大会			
フルート二重奏	優良賞	神谷祥代・西村優希	

第26回総会および合同同期会のお知らせ

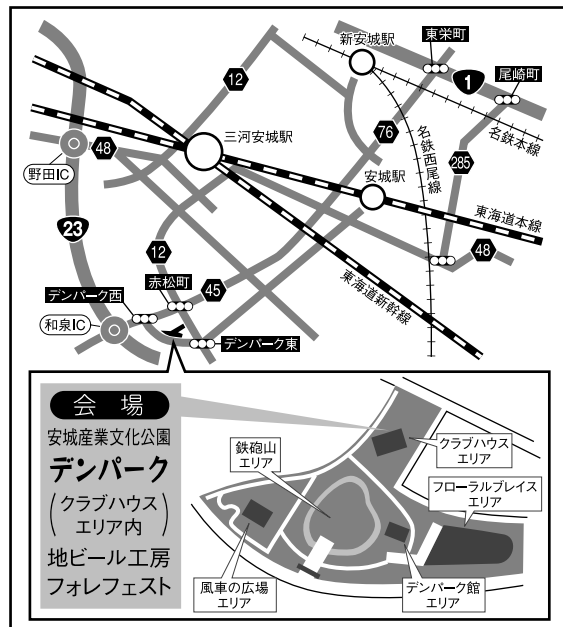
平成17年に母校安城東高校は創立30周年を迎えます。碧海野会では母校の創立30周年を同窓生に知ってもらい、大いに祝う気運を高めるため、プレ企画として、今年度は総会と同期会を今までとは違った趣向で行います。下記のように総会、同期会ともデンパーク内の「フォレフェスト」(地ビール工房)で行います。同期会は今まで5回生おきの回生による運営を行ってまいりましたが、今年度は全回生が集える同期会にしようと、回生の制限はありません。回生単位、クラス単位、グループ単位、もちろん個人での多数の参加をお待ちしております。(ご家族同伴でもかまいません。)恩師も多数お招きしておりますので、さまざまな年代の同窓生、そして恩師の先生方入り交じって立食パーティで大いに30周年前年を祝って盛り上げられたらと思います。

なお、同期会への出欠席の確認のためハガキが同封してありますので、お手数ですが7月31日(土)までに出席等をご記入の上、ご投函下さい。

また、独自にOB会や同期会を開催される場合も今年度碧海野会から補助を出します。幹事の方は下記アドレスまでご連絡下さい。

《アドレス》 info@anjo-higashi.gr.jp

- 期 日 平成16年8月21日(土)
 総 会 :午後5時30分
 同期会 :午後6時00分
- 会 場 デンパーク内
 「フォレフェスト」(地ビール工房)
- 会 費 1～25回生 3,000円
 26回生 1,000円
- 同期会形式 立食パーティ
- 送迎バス 午後4時45分 名鉄新安城駅 南口ロータリー出発
 午後5時00分 JR安城駅南口ロータリー出発
 ※立食パーティではお酒も出ますので、
 ご自分での車の運転はお控え下さい。



安城東高等学校 創立30周年記念事業について

来る2005年度は母校の創立30周年目にあたります。

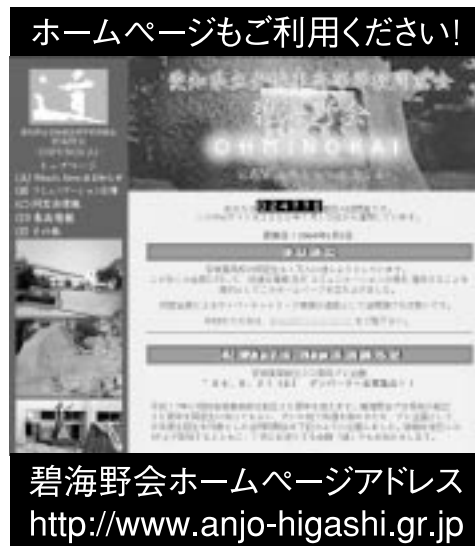
そこで、学校・PTA・碧海野会で30周年記念事業実行委員会を組織し、去る5月22日にその第1回会合が開催されました。来年に迫った30周年の記念事業の準備がいよいよ本格的に始まったわけです。記念事業の内容については、今後委員会で協議をしていきますが、碧海野会としても、積極的に実行委員会の一役を担い、記念すべき母校の30周年を、同窓生皆さんと共に祝いできるような記念事業にしていきたいと考えております。

また、碧海野会単独の事業として、同窓会名簿の発行、30周年記念総会の開催、会報「達」復刻版の発刊等を企画しております。

30周年記念事業の内容、及び碧海野会の協賛事業については、決定次第、随時、碧海野会のホームページや総会等でご案内してきます。ご期待ください。

なお、記念事業の内容につきましては、皆様からのご意見も大歓迎致します。碧海野会ホームページ上からご投稿下さい。

ホームページもご利用ください!



碧海野会ホームページアドレス
<http://www.anjo-higashi.gr.jp>

第3代校長
昭和60年度～昭和62年度

木村和夫先生 叙勲受章おめでとうございます

この度、木村和夫先生が、長年にわたる教育への功績が認められ、春の叙勲にて、瑞宝小綬章を受章されました。

先生は、昭和31年愛知県立碧南高等学校に奉職され、以来、豊橋商業高等学校、豊丘高等学校、愛知県教育委員会教職員課、安城東高等学校（校長）、愛知県教育委員会教職員課（主幹）、岡崎北高等学校（校長）を歴任、37年にわたり教育の道一筋に歩んでこられました。

その間、強固な精神力と卓越した識見をもって、情熱的に生徒の指導に取り組み、また、豊富な教育経験をもとに、地元三河で、学校経営、教職員の資質向上、教育行政の活性化など、多大な業績を残されました。

その業績が認められての受章、安城東高校同窓生一同より、お祝しあげます。



平成16年度..... 未来の教育者へガンバレ!教育実習生

6月7日(月)～6月18日(金)

23回卒業生9名の皆さんが教育実習を行いました。

7月21日には採用試験に挑みます。

ぜひ合格して、母校へ帰ってきてほしいものです。

氏 名	教科(科目)
平道 秀和	国 語
井澤 奈央	国 語
水鳥 愛	公民(現社)
犬塚 智美	公民(現社)
比野 裕介	理科(生物)
金目 由希	保健体育
羽佐田 真紀	外国語(英語)
秋元 綾香	家 庭
石川 智香子	家 庭

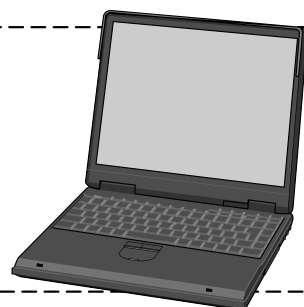


編集後記

今回、ご縁がありまして、「達」の編集をさせていただきました。安城東高校のOB(8回生)です。まさか、自分が母校の会報誌に携わるとは思いもしませんでしたので、ビックリです。

さて、8回生の皆さん、お元気ですか?安城東高校も創立30周年を迎えるそうです。久しぶりに同窓会でも行ってみませんか?楽しみに誰かが言い出すことを待っています。次回も楽しみにしてください。 (K.O.)

※安城東高校の創立30周年を利用して、個人情報を出している人がいるようですが、現在、同窓会ではそのような活動は行っておりませんので、ご注意ください。



平成15年度 決算報告

<収 入>

繰り越し(平成14年度より)	606,678(円)
会 費(25回生 396名)	3,168,000
利 息	29
計	3,774,707

<支 出>

会 報(編集費用・印刷代等)	186,755(円)
会報発送費(発送作業委託料、郵送費等)	686,003
総 会(会場費、講師謝礼、同期会補助等)	356,652
転退職職員記念品料	50,000
26回生卒業記念品書籍代	312,800
26回生入会のしおり	46,725
インターネット通信費(電話料等)	254,296
ホームページレンタルサーバー使用料	35,280
碧海野演奏会広告料	10,000
碧海野会特別教育活動表彰賞品代	12,362
雑 費(会議費、通信費、諸費用)	101,294
特別基金積み立て	1,000,000
計	3,052,167
残 金	722,540

平成16年度へ繰り越し

碧海野会 特別教育活動賞授与

在学中に特別教育活動で多大な功績のあった在校生を卒業時に表彰する碧海野会特別教育活動賞の表彰式がありました。二十六回生では次の一名の該当者があり、表彰状と賞品を授与しました。

青山高弘 君

- 愛知県高校生の写真展 奨励賞
- 第26回全国高等学校総合文化祭 写真部門出品

慶弔報告

【ご結婚(恩師)】

猿渡(幸島)由果 先生 ・平成15年11月15日(土)
ご結婚おめでとうございます。お祝しあげます。

【弔 事】

洗川将悟 さん(第25回生)
・ご逝去

土井(石田)幸枝 さん(第5回生)
・平成15年5月 ご逝去
心よりお悔やみ申し上げます。

同窓生の逝去に際しましては、碧海野会から弔電を送ります。同窓生の計報連絡等ございましたら、碧海野会事務局までご一報くださいますようお願いいたします。